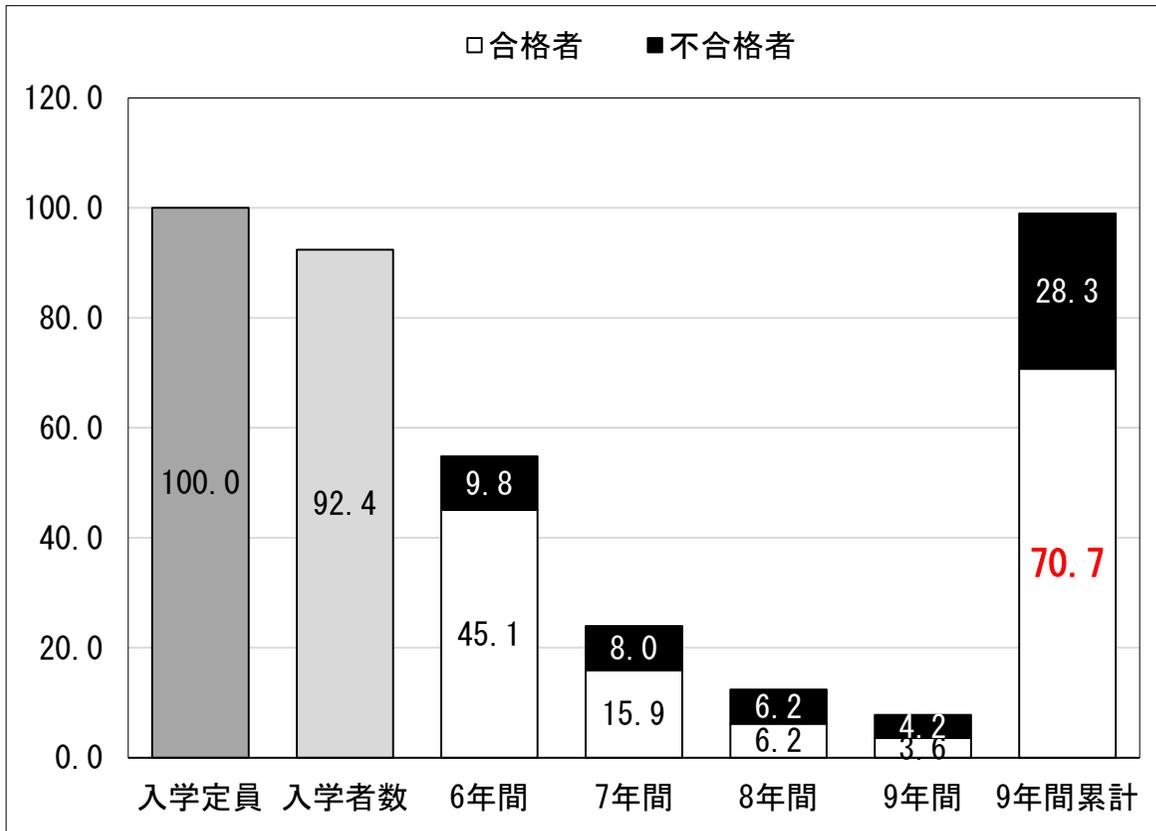


平成28年4月12日

卒業年次		受験可能回数	受験者数 (人)	構成比 (%)	合格者数 (人)	合格率 (%)
新卒	平成26年4月～ 平成27年3月	1回	1,995	63.6	1,457	73.0
既卒	平成25年4月～ 平成26年3月	2回	598	19.1	377	63.0
	平成24年4月～ 平成25年3月	3回	217	6.9	107	49.3
	平成23年4月～ 平成24年3月	4回	71	2.3	29	40.8
	平成22年4月～ 平成23年3月	5回	54	1.7	12	22.2
	平成21年4月～ 平成22年3月	6回	31	1.0	5	16.1
	平成20年4月～ 平成21年3月	7回	54	1.7	10	18.5
	平成19年4月～ 平成20年3月	8回	32	1.0	1	3.1
	平成18年4月～ 平成19年3月	9回	23	0.7	2	8.7
	平成18年3月以前	10回以上	63	2.0	3	4.8
	計			1,143	36.4	546
総計			3,138	100.0	2,003	63.8

# 第108回歯科医師国家試験合格状況（全歯学部）

第108回（平成27年）歯科医師国家試験の受験願書の情報を基に、入学状況や国家試験の合格状況が同一であったとの条件下で分析を行ったところ、歯学部入学後9年以内に歯科医師国家試験に合格した者の割合（全歯学部）は、70.7%であった。



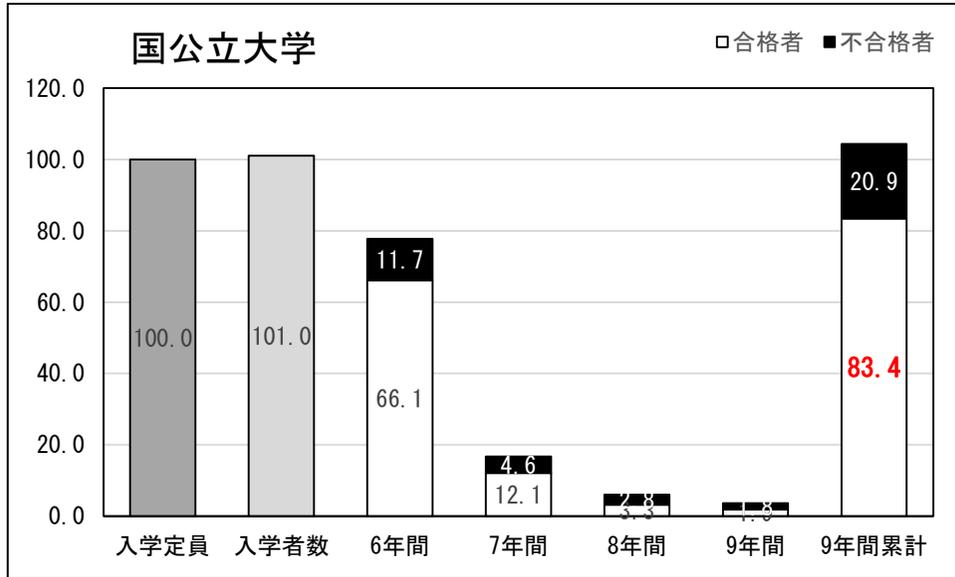
	人数	合格者	不合格者
入学定員	2,579 (100.0)	—	—
入学者数	2,383 (92.4)	—	—
6年間の受験者 (平成21年度入学)	1,414 (54.8)	1,162 (45.1)	252 (9.8)
7年間の受験者 (平成20年度入学)	618 (24.0)	411 (15.9)	207 (8.0)
8年間の受験者 (平成19年度入学)	320 (12.4)	159 (6.2)	161 (6.2)
9年間の受験者 (平成18年度入学)	201 (7.8)	92 (3.6)	109 (4.2)
受験者 (9年間累計)	2,553 (99.0)	<b>1,824</b> <b>(70.7)</b>	729 (28.3)

※（ ）内は入学定員を分母とした割合

## 分析方法の概要

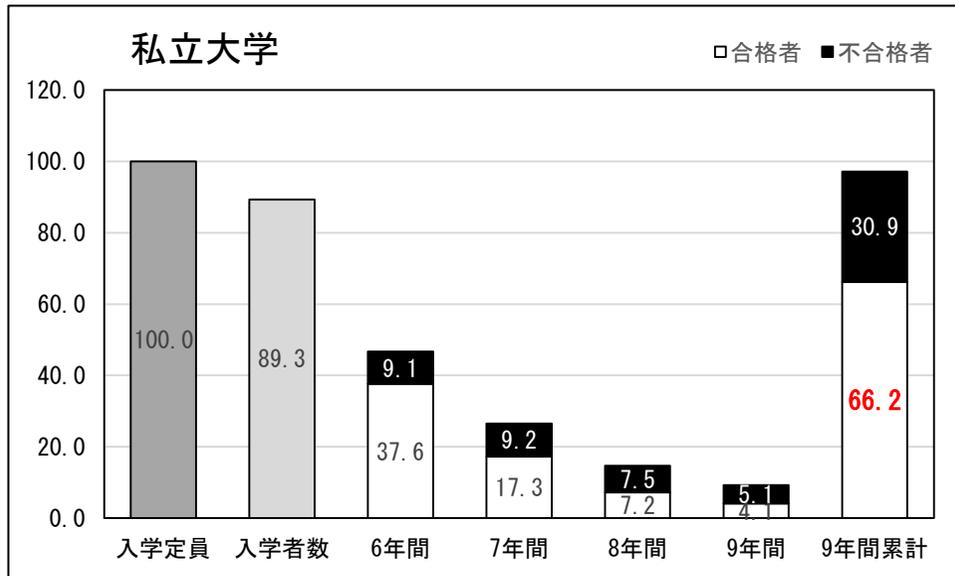
- ・累計の合格率の算出を行う場合、ある特定の入学時期の学生の追跡を行い、最終的に国家試験の合格に至った人数を調査する必要がある。しかしながら、国家試験の受験願書の情報では把握が困難なため、入学定員や入学者数、国家試験の合格状況が同一であるとの条件下で、国家試験の願書の情報を基に今回の分析を行っている。また、編入等で歯学部の在学期間が6年未満の受験者は分析の対象から除いている。
- ・例えば、7年間の受験者には、6年間で歯学部を卒業し、1年間の期間を経て国家試験に合格した者と7年間で歯学部を卒業し、その年の国家試験を合格した者が含まれる。

# 第108回歯科医師国家試験合格状況（大学設置主体別等）



	人数	合格者	不合格者
入学定員	675 (100.0)	—	—
入学者数	682 (101.0)	—	—
6年間の受験者 (平成21年度入学)	525 (77.8)	446 (66.1)	79 (11.7)
7年間の受験者 (平成20年度入学)	113 (16.7)	82 (12.1)	31 (4.6)
8年間の受験者 (平成19年度入学)	41 (6.1)	22 (3.3)	19 (2.8)
9年間の受験者 (平成18年度入学)	25 (3.7)	13 (1.9)	12 (1.8)
受験者 (9年間累計)	704 (104.3)	563 (83.4)	141 (20.9)

※（ ）内は入学定員を分母とした割合



	人数	合格者	不合格者
入学定員	1,904 (100.0)	—	—
入学者数	1,701 (89.3)	—	—
6年間の受験者 (平成21年度入学)	889 (46.7)	716 (37.6)	173 (9.1)
7年間の受験者 (平成20年度入学)	505 (26.5)	329 (17.3)	176 (9.2)
8年間の受験者 (平成19年度入学)	279 (14.7)	137 (7.2)	142 (7.5)
9年間の受験者 (平成18年度入学)	176 (9.2)	79 (4.1)	97 (5.1)
受験者 (9年間累計)	1,849 (97.1)	1,261 (66.2)	588 (30.9)

※（ ）内は入学定員を分母とした割合

# 第108回歯科医師国家試験合格状況（全歯学部・内訳）

歯科医師国家試験の合格に至る合計年数が同じであっても歯学部の在学期間が短い受験者の方が国家試験の合格率は高い傾向にある。

例えば、7年間の受験者には、6年間で歯学部を卒業し、1年間の期間を経て国家試験に合格した者と7年間で歯学部を卒業し、その年の国家試験を合格した者が含まれるが、前者の合格率が75.5%に対して後者の合格率は55.3%であった。

合計年数	国家試験合格までの期間			受験者数	合格者数	合格率
6年	歯学部在学（6年間）		国家試験	1,414	1,162	82.2
7年	歯学部在学（6+1年間）		国家試験	275	152	55.3
	歯学部在学（6年間）	1年間	国家試験	343	259	75.5
8年	歯学部在学（6+2年間）		国家試験	113	45	39.8
	歯学部在学（6+1年間）	1年間	国家試験	132	70	53.0
	歯学部在学（6年間）	2年間	国家試験	75	44	58.7
9年	歯学部在学（6+3年間）		国家試験	61	21	34.4
	歯学部在学（6+2年間）	1年間	国家試験	58	25	43.1
	歯学部在学（6+1年間）	2年間	国家試験	62	36	58.1
	歯学部在学（6年間）	3年間	国家試験	20	10	50.0